

企業名： 島精機製作所

レポート名： 統合報告書 2022

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

統合報告書にはいくつもの項目がたてられていたが、一貫してその時代の社会背景に合わせた経営方針や社会問題の解決に寄与するような事業の在り方を掲げているのだということが、統合報告書を通して感じられた。創業の原点が、工場で働く作業員が手袋ごと機械に巻き込まれる事故を防ぐために、すぐに脱げる手袋を開発したというところから始まったと繰り返し説明されており、また現在の事業については、ソリューションビジネスの展開のためサステナビリティに注力し、デジタルデータやインターネットを活用した取り組みを広げていることが写真やイメージとともに明示されている。現在のアパレル業界で特に問題視されている「大量生産・大量廃棄」というビジネスモデルに疑問を呈し「適時適量生産」を目指しているとも述べられており、様々な分野において、時代の流れに合わせた取り組みを通して社会問題の解決に寄与する、という一貫した姿勢が伝わってきた。また、抽象的な言葉だけでなく、従業員の女性比率や男女の育休取得率などは具体的な数値の推移がグラフで視覚的に示されているほか、各分野における具体的な取り組みや対応する SDG s の項目が明示されている点が良いと感じた。

また、「Ever Onwardー限りなき前進」という経営理念/ミッションについても具体的な施策とともに説明がされており、将来的なビジョンの説明は十分になされていると感じられた。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

競争優位性が感じられる点としては、ホールガーメント横編機に関する先進的な技術力が挙げられる。また、デジタルデータの活用など時代の変革に沿った新事業を展開しており、競合がまだ少ないサービスにも手を伸ばしていることが伺える。

しかし、ホールガーメント横編機の発明については少し触れられているものの、島精機製作所によって発明された独自技術であるということがあまり主張されておらず、わかりにくいと感じた。また、売上高の約 7 割を横編機が占めているが、全事業総合の営業利益は 2022 年 3 月期で 4296 百万円の赤字である。そのため、統合報告書を参照する限り、競争優位性が強く伝わってくる印象はなかった。ところが、別途、横編機事業・業界についてインターネットで調べてみると、島精機製作所の記事ばかりがヒットした。また、横編機事業については世界のなかでもトップのシェアであることを島精機製作所の採用向けサイトを通じて知った。

よって、競争優位性についてはおおむね理解はできるが、技術の独自性や具体的な事例な

どがもっと主張されているほうが理解しやすいのではないかと考える。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

サステナブルファッションの重要性は全世界を通じて謳われており、世界的なハイブランドも注目し、今日では一つのファッショントレンドとなっている。そのような流れの中で、無駄の少ない生産が可能なホールガーメント技術の注目度は高まり続けると考えられる。

現在進めているオンラインサービス等の新事業については、新規参入がこれから増えていくと考えられる。そのため、先進的な技術やアイデアで差別化をし、リードを取らなければ持続的に競争優位に立つことは難しいと考えられる。

しかし、サステナビリティに注力しており、積極的にエコ素材の導入や無駄の少ない生産プロセスを用いている。このように、循環型経済を目指した取り組みのような、全体として時代にあった変化を起こしていることは長期的な目で見たと際に、企業の持続性を向上させることに繋がっていると感じられた。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

41 ページの「従業員とともに」という項目に詳しい記述があり、プログラミング研修や外国語研修など個人のスキルアップに対する支援が積極的に行われていることがわかった。また、求める人物像として「何事にもチャレンジできる人材」を挙げており、実際に、新規事業の公募を通じて新しいプロジェクトをスタートさせているなどの取り組みも行われている。

また、女性や外国人、障がい者雇用にも力を入れており、多様な価値観やスキルを持った人々が集まる環境のなかで、刺激を受けたり多様な考えに触れたりすることができるのは人的資本の向上につながる職場環境であると考えられる。

これらの要素から、島精機製作所は人的資本の向上を達成できる会社であると判断する。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

まず、デザイン、見た目という観点からすると、全体としてわかりやすい見出しとともに項目がしっかりと分けられていて、読みやすかった。色分けや図表の挿入がされている点は視覚的にとてもわかりやすいと感じた。しかし、経営者の方のインタビューの部分や項目ごとの詳細な説明に関しては文字が少し小さく情報量も多すぎると感じた。その部分に関しては、黒だけの小さい文字がずらっと並んでいる部分が多いため、膨大な情報の中で重要な部分がわかりにくくなってしまっていると思った。そのため、重要なポイントは色を変えるなどの改善が行われると良いと考えた。

内容に関してはこれまで述べてきたところと重なるが、一貫した企業理念や経営方針が強く伝わるものだったと思う。しかし、企業の独自技術という強みがわかりづらいつと感じたため、もう少し詳しい事業事例や開発の経緯を示してもよいのではないかと考えた。事業の

多角化を進めていて、新規事業に焦点を当てることももちろん重要ではあると思うが、現在もっている強みをもう少し押し出す必要もあると感じた。

以上に挙げたような改善点もあるが、全体的にまとまりがあってわかりやすい統合報告書であると好印象に感じられた。

以上

(参考文献)

島精機製作所 統合報告書 2022年3月期

[389.pdf \(shimaseiki.co.jp\)](#)

島精機製作所 採用サイト

<https://www.shimaseiki.co.jp/recruit/world/>

島精機製作所 創立60周年特設サイト ホールゲームの歴史

<https://www.shimaseiki.co.jp/60th/wg-history/>